

# 人と動物の豊かな共生社会をめざして

## ～動物たちが教えてくれること～

1967年、ヤマザキ学園は「生命への畏敬」と「職業人としての自立」を建学の精神に創立。生きとし生けるものが「共生することの大切さ」を広く発信してきた。豊かな共生社会の実現を目指す理事長の山崎薫さんと、国立科学博物館館長の林良博さんが学園の歩みとこれからの課題を語り合った。

学園創立50周年によせて



山崎薫さん  
聖路加国際病院名誉院長  
ヤマザキ学園最高顧問

学校法人ヤマザキ学園の創立50周年を心より祝い申し上げます。

コパ・オン・マルのケア専門技術者養成のために山崎薫先生によって創立された学園が、山崎薫理事長に引き継がれて50年の歩みを重ねたことになりました。

ヤマザキ学園は1994年に専修学校となり、その後、短期大学として4年制の大学へと教育のレベルアップを図ってこられました。そして今日まで1万人以上の専門家を養成し、世に送り出されました。

近代看護の母といわれるナイチンゲールは、看護をする者にとって大切なことは、①環境の重要性②実際の看護の方法手法③病む人を観察し、励まし、精神的サポートをしておくこと、と述べています。①②③については、教育が大きな役割を果たしますが、③については「人ひとりの感性のレセプターが大きく問われること」になります。ナイチンゲールは「病む人」としてありますが、私は動物についても同じと考えます。

これについては、私が長年関わってきた医療の領域でヤマザキ学園が目指してこられた教育方針とは共通するものであり、何ら変わることはありません。

近年、動物の「癒やし」の力はますます高く評価されるようになり、動物たちは動物と関わりのある生活を送ることが可能となります。そのために、山崎薫理事長のもとで学園がますます発展し、広く活躍の場を得られることを願ってやみません。

「人と動物の架け橋」となる若者を社会に送り出す

少子高齢化社会における人と動物のよりよい共生を考える



国立科学博物館 館長 林良博さん

はやし・よしひろ／東京大学農学部卒業。ハーバード大学客員研究員、コーネル大学客員助教授、東京大学教授などを経て2013年から現職。

学校法人ヤマザキ学園 理事長 山崎薫さん

やまざき・かおる／サンフランシスコ州立大学芸術学部卒業。麻布大学大学院獣医学研究科修了。動物人間関係学分野 博士(学術)。1994年、ヤマザキ学園2代目理事長に就任。

林 この50年を振り返ると、ペットの飼育環境や健康管理は「いざいざ」よくなり、ペットは「コンパニオンアニマル(伴侶動物)」と呼ばれ家族の員になり、人生のパートナーに位置づけられて私たちとの関係は大きく変わりました。貴学が果たしてきた役割は大きいと思います。

山崎 ありがとうございます。室内飼育が一般的になりましたね。それに伴って、グルーミング(美容手入れ)やトレーニング(しつけ)の必要性が理解され、動物との関係は様変わりしました。本学創始者の「正しい知識を身につけて動物と共に暮らす本当の楽しさを知ってほしい」という願いが、かなってあります。

林 これまでの道のりで、いばんの転機はやはり2000年の動物愛護法の施行ですか。

山崎 そうですね。本学は創立以来50年間「生命への畏敬」を掲げていますが、「動物が命あるもの」という記述が法律に明文化され、整備が加速したと思います。動物たちが教えてくれることはたくさんありますが、最も大切な「生命の尊厳」が見直され、感無量でした。

林 この改正は動物たちが市民権を得た瞬間でした。私は人と動物の関係がこれまで緊密になったことには、動物医療の高度化・専門化が大きく影響していると考えています。貴学は国内唯一の「動物看護学部」を設置していますが、動物医療を支えるにあたり、どんな思いがありますか。

山崎 学生によく「看護はアートである」と伝えていきます。看護は触れることからはじまります。特に動物は言葉で話しかけられ、声なき声を聴くための感性を磨くことが大切なのです。

確かな技術が必要な学問ですが、「技の前に感性」である。

林 素晴らしい考えかただと思います。動物との共生を新しい段階に進めるために、「感性」は大きな力になるでしょう。

山崎 7月に開催する動物愛護シンポジウムでは、皆様と共に改めて「生命の尊厳」と「人と動物の共生」について考えたいと思います。林先生には基調講演を務めていただきますが、どのような

テーマになるでしょうか。

林 共生とは暮らしのことですから、少子高齢化や核家族化という社会の問題と密接に結びついていることをお伝えしたいですね。特にいまの日本では、終生飼養を含めて高齢者が動物とどんなふうに関わり合っていくかという課題もあります。「よりよい共生」をかなえるための様々な議論にならざるを得ないと思います。

山崎 ありがとうございます。多くの意見が交わされる場になることを期待しています。

ヤマザキ学園の授業に協力しているモレス犬の森田コロくん(7歳)と、山崎薫さんの愛犬バンビくん(16歳)



## 第7回 ヤマザキ動物愛護シンポジウム

動物愛護と青少年の教育を考える

動物への正しい愛情を通して「生命の尊厳」を学び、調和のとれた平和な社会をめざすために、これからの私たちとペットの関係はどうかをシンポジウムを通して考えます。

### 基調講演

少子高齢化時代におけるヒトと動物の共生

国立科学博物館 館長 林良博氏

### パネルディスカッション

みんなで考える、ヒトとペットの豊かな共生社会

#### パネリスト

- 国立科学博物館 館長 林良博氏**  
東京大学大学院修了。ハーバード大学客員研究員、コーネル大学客員助教授などを経て、2013年より国立科学博物館館長就任。「ヒトと動物の関係学」「日本獣医解剖学会」会長。著書に「ヒトと動物―野生動物・畜畜・ペットを考える。」
- 環境省 動物愛護管理室 室長 則久雅司氏**  
東京大学大学院修了。環境庁入庁。鹿児島県庁で奄美群島の世界自然遺産登録等に取組み、2015年より環境省自然環境局動物愛護管理室室長就任。文化の違いによる日本人の動物観と動物愛護管理法の関わりについて考察する。
- 座長 山崎薫**  
学校法人ヤマザキ学園 ヤマザキ学園大学 動物看護学部 山崎薫  
ヤマザキ動物専門学校 理事長  
サンフランシスコ州立大学芸術学部卒業。麻布大学大学院獣医学研究科修了。1994年学校法人ヤマザキ学園理事長就任。2008年にヤマザキ動物看護短期大学学長。10年にヤマザキ学園大学を開学し、13年に学長就任。16年に環境省の動物愛護管理功労者大臣表彰を受ける。
- 歌手・女優 ジュディ・オング氏**  
台湾生まれ。3歳で来日し、11歳で日米合作映画「天津波」にて女優デビュー。1979年には「魅惑されて」が大ヒットし、日本レコード大賞を受賞。介助犬サポート大使として社会における介助犬への理解を深める啓蒙に努める。
- 一般財団法人動物看護師 統一認定機構 機構長 佐々木伸雄氏**  
東京大学大学院修了。動物医療における教育・研究・臨床に従事し2014年より動物看護師統一認定機構機構長就任。獣医師の立場から飼い主とペットの心に寄り添う動物看護師の社会的地位向上のため公的資格化にむけ尽力。

2017年  
**7月17日(祝)**  
13:00～15:00  
会場:有楽町朝日ホール  
**600名様 無料招待!**

**応募方法**  
郵便番号、住所、氏名、年齢、職業(学生の場合は学年)、電話番号、参加希望人数を明記のうえ、ご応募ください。  
※応募多数の場合は、抽選となります。当選された方には招待状をお送りします。※ペットの同伴はできません。  
**ハガキ** 〒104-8665 東京・晴海郵便局私書箱303号 朝日新聞社 メディアビジネス局 「ヤマザキ学園シンポジウム」係  
**FAX** 03-5972-6634  
**インターネット** <http://enq.digital.asahi.com/epost/>  
**締切:7月10日(月)**  
※当日消印有効  
シンポジウム会場アクセス  
●JR線有楽町線中央口または銀座口  
●地下鉄(丸ノ内線・銀座線・日比谷線) 銀座駅 C-4出口  
●地下鉄(有楽町線) 有楽町駅 D-7出口

ヤマザキ学園50年の歩み

創始者 山崎良壽 (1919～1990)

- 1966 犬の正しい飼い方を指導するため衣食住をテーマに「犬のリビング風」を渋谷駅前ビルにて開催
- 1967 学校組織としては世界で初めてのイヌのスペシャリスト養成機関「シブヤ・スクール・オブ・ドッグ・グルーミング」開校
- 1973 「動物の保護及び管理に関する法律」制定
- 1994 学校法人ヤマザキ学園認可2代目 山崎薫 理事長就任
- 1999 「動物の愛護及び管理に関する法律」名称変更
- 2000 「動物の愛護及び管理に関する法律」施行
- 2004 ヤマザキ動物看護短期大学開学
- 2010 ヤマザキ学園大学開学 日本初の動物看護学部を設置
- 2016 理事長 山崎薫 環境省より「動物愛護管理功労者大臣表彰」を受賞
- 2017 創立50周年